

◆日本計量振興協会理事会出席
平成三十年四月二十六日
東京都「日本計量会館」

◆日本計量振興協会総会出席
平成三十年五月二十四日
東京都「ホテルインターコンチネンタル東京ベイ」

◆日本計量振興協会総会出席
平成三十年五月二十四日
東京都「ホテルインターコンチネンタル東京ベイ」

議 事
一 平成二十九年度事業報告について
二 平成二十九年度決算報告について
三 役員の変更について
四 公益目的支出計画実施報告について
五 平成三十年度事業計画について
六 平成三十年度収支予算について
その他

二 事 業
一 計量思想の普及啓発事業
◇ 十一月一日の計量記念日を中心とした計量強調週間として次の行事を実施
○ 計量記念日ポスターを作成し、会員、県内市町村、計量器販売事業者、計量関係事業所へ配布
○ 計量記念日、計量思想普及啓発へのティッシュペーパーやタオルを作成し配布する
○ 福島市、福島市計量管理協会と共催し、街なか広場において一般市民に対し「計量ひろば」を開催
○ 街頭広報活動
十一月一日の計量記念日に、福島県、福島市と共催で福島駅前を中心としてチラシ、ティ

シユペーパー等を配布しPR活動をを行った

駅前での街頭PR!!

○ 「計量標語」何でもはかってみようコンテスト」の募集
計量記念日をPRするため関係事業者、学校関係等への計量標語等を募集した

○ 計量管理大型店
十一月を計量強調週間として、県内十六社百九十八店舗に対し、ポスターを配布、各店内において掲示、店内や一般消費者への計量意識の高揚と信頼性の向上に努めた

○ 量目検査
計量管理の意識高揚のため現場にて量目関係等の指導を行った

◆第六回通常総会要旨
議 事
一 平成二十九年度事業報告について
二 平成二十九年度決算報告について
三 平成三十年度事業計画について
四 平成三十年度収支予算について
五 役員改選について
六 次期通常総会開催地について
七 平成三十年度東北・北海道計量大会について
その他

◆事業概要
一 計量思想の普及、適正な計量管理の推進
ア 計量記念日ポスター、計量のひろば配布
イ 計量思想普及啓発のティッシュペーパー、タオルを作成配布
ウ 「計量ふくしま」の作成配布
エ 計量記念日全国大会等への参加

二 計量関係相談の活用
◇ いわき市計量管理協会研修助成、福島市計量管理協会研修助成、郡山計量管理協会助成、計量ひろば協賛、計測展協賛
三 計量に関する講習会、座談会及び見学会の開催
◇ 計量協会傘下の各団体の講習会において、職員等の派遣
四 計量に関する情報の収集及び提供並びに計量に関する相談

◆中央団体から送付の各種資料の配布及び情報提供

平成三十年度
各団体の総会(会議)

福島県内にある三つの計量管理協会(福島市、郡山市、いわき市)の平成三十年度総会が開催され、各団体による事業、研修、その他の行事等が決議されそれぞれ承認された。

◆福島市計量管理協会総会
○平成30年5月23日
○福島市「福島テルサ」

◆いわき市計量管理協会総会
○平成30年5月24日
○いわき市「正月荘」

◆郡山計量管理協会総会
○平成30年5月25日
○郡山市「郡山モノリス」



新年のごあいさつ

福島県計量検定所
所長 増子 敏夫

新年明けましておめでとうございませう。
皆様方には、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げますとともに、常日頃から、本県の計量行政の円滑な推進に多大なる御理解と御協力をいただいておりますことに心より御礼を申し上げます。

さて、昨年は、計量法の政省令改正を受けて、特定計量器に加えられた「自動はかり」の製造・修理に係る届出が開始され、また、非自動はかりや燃料油メーターに係る新設の指定検定機関の具体的な指定基準が示されるなど、次なる十年に向けた計量制度改正の動きが次第に具体的になってまいりました。

今回の制度改正は、近年著しい国際化への対応や民間活力の導入のための規制緩和の推進など計量制度を取り巻く環境の変化に的確に対応していくためのものであり、事業者等関係者はもとよりユーザーである産業界や消費者等の国民生活全般に少なからず影響をもたらすものとなっております。

県といたしましては、引き続き公平・公正な計量行政を円滑かつ適正に推進するため、今後とも国や自治体はもとより、事業者や関係機関団体等の皆様方と一層連携を密にし、この度の制度改正に的確に取り組んで参りたいと考えています。

おりますのでよろしくお願いいたします。

さて、今年の計量検定所の業務についてであります。本県経済の発展と県民の生活向上に寄与するため、適正な計量器の供給確保を第一として、消費生活の安全確保、環境計量の適正化、計量管理の推進及び計量思想の普及啓発を重点施策として、計量行政の積極的な推進を図ることとしております。

特に、経験豊かな職員の退職等が続いているため検定・検査技術の承継が課題となっており、ベテラン職員がOJT研修により知識・技術を計画的かつ的確に伝承するレベルアップ事業や新人職員の産業技術総合研究所での教習受講に取り組みなど、円滑かつ適正な検定・検査業務の実施に留意して参ります。

また、普及啓発事業といたしましては、計量の大切さや面白さを体験してもらおう小学校での出前教室や親子を対象とした計量体験教室の拡充、消費者保護を目的とした商品量目や使用期限のある計量器の更新に係る立入検査など適正計量の啓発指導を重点的に行い、より一層の安全で安心できる県民生活の確保に取り組みで参ります。

はかりの定期検査につきましては、一部の地域は実施できない状況が続いておりますが、避難指示

解除等の状況を踏まえ、引き続き地元自治体と密接に連携しながら柔軟な対応と早期の再開に努めて参りたいと考えております。

今年度は、先の東日本大震災から8年目を迎え、県としては、避難住民の早期帰還はもとより、強い風評被害への対応や新たな産業の育成に加え、少子高齢化に伴う過疎化の進展などもあり、将来を見据えた地域の復興・創生が大きな課題となっており、積極的に取り組むこととしておりますので、なお一層の御理解と御協力をお願いいたします。

結びに、皆様方の今後益々の御健勝と御多幸をお祈り申し上げ、新年の御挨拶とさせていただきます。

平成三十年度
計量協会事業状況報告

一、会 議
◆理事會
平成三十年四月十八日福島市「ホテル辰巳屋」において開催された。

前年度の事業報告・収支決算書の承認・他、「通常総会における計量功労者表彰について」「理事の改選について」「東北六県・北海道計量大会」への参加など今後の事業予定等の議案が提出され、何れも承認された。

◆通常総会
平成三十年度第六回通常総会は六月二十五日、福島市「ホテル辰巳屋」において出席者五十八名、委任百三十三名によって開催された。

来賓として後藤隆県商工労働部参事兼商工総務課長、増子敏夫県計量検定所長他各計量特定市計量検査所長他のご出席のもと開催された。

今年度は十月四日に秋田県秋田市で開催の「東北六県・北海道計量大会」の参加協力の他、席上にて計量功労者として、十一名が表彰され表彰者を代表して、木村啓次氏が代表謝辞を述べた。(要旨別掲)



・会員数 217 名 (平成 30 年 4 月 1 日)

支部名	正会員数	支部名	正会員数
福島支部	69	安達支部	14
郡山支部	47	相双支部	14
会津支部	21	団体会員	13
いわき支部	26		
白河支部	13	計	217

晴の表彰を受けた計量功労者の皆さん

平成30年度 第6回
一般社団法人福島県計量協会通常総会

平成30年度計量協会総会

LPガス式スマートメーター

IoT社会のスタンダードモデル

マイコンメーターS

K-SMα™

私たちアズビル金門は、暮らしに必要不可欠なライフラインを支えるメーカーとして、広く生活やビジネスの場において人々の安心と快適、達成感を追及します

アズビル金門株式会社

azbil

福島営業所
福島県福島市方木田字谷地17-9
TEL 024-545-3411
FAX 024-546-9621
URL : <https://ak.azbil.com/>

正しい計量取引を推進しましょう!

1に水平
2に零点
3にガタガタしないことヨ!!

検査に該当する「はかり」取引・証明に使用できる例

- ① 商店・スーパー等で肉や魚、惣菜等の重さを計量するはかり
- ② 学校、病院等で健康診断等に使う体重計
- ③ 薬局・病院等で使用する薬調剤用のはかり
- ④ 荷物運送業等で運賃計算に使用するはかり

福島県計量士会では、JCSSによる一軸試験機(各種)の校正もOKです。お申し込み下さい。

一軸試験機
・圧縮試験機
・引張試験機等 他

◆計量士の資格をお持ちの方、大歓迎!!

計量の検査・何でも相談ください。

fk 福島県計量士会

〒960-8670 福島市杉妻町2番16号 (福島県計量検定所内)
TEL&FAX.024(521)4035
E-mail/fk-fukushima51@rapid.ocn.ne.jp

福島県適正計量管理事業所協議会
○ ○ 平成30年7月5日
福島市「ホテル辰巳屋」

福島県計量管理大型店協議会
○ ○ 平成30年6月28日
福島市「ホテル辰巳屋」

福島県計量証明事業者協会
○ ○ 平成30年7月12日
福島市「杉妻会館」

福島県タクシーメーター工業会
○ ○ 平成30年7月18日
西白河郡西郷村「五峰荘」

福島県計量工業会
○ ○ 平成30年12月6日
福島市「吉川屋」

福島県計量士会
○ ○ 平成30年6月14日
福島市「ホテル辰巳屋」
・平成三十年度東北・北海道計量大会について

福島県計量器コンサルタント協会
○ ○ 平成30年10月24日
会津若松市
「公立大学法人会津大学」

東北六県北海道計量協会展
○ ○ 平成30年10月4日
秋田県秋田市「秋田ビューホテル」

福島県適正計量管理事業所協議会
福島県計量管理大型店協議会
福島県計量証明事業者協会
福島県タクシーメーター工業会
福島県計量工業会
福島県計量士会
福島県計量器コンサルタント協会
東北六県北海道計量協会展

福島県適正計量管理事業所協議会会長あいさつ
福島県計量管理大型店協議会会長あいさつ
福島県計量証明事業者協会会長あいさつ
福島県タクシーメーター工業会会長あいさつ
福島県計量工業会会長あいさつ
福島県計量士会会長あいさつ
福島県計量器コンサルタント協会会長あいさつ
東北六県北海道計量協会展橋本五郎氏の講話
東北六県北海道計量協会展会長・同計量士会合同会議

晴れの表彰 受賞の皆さん!!

平成三十年度に次の当協会関係の方々が表彰を受けられました。
(敬称略)

- ◆計量記念日全国大会
産業技術環境局長表彰
・加藤 徳文
- ◆一般社団法人計量振興協会
計量功労者表彰
・中上 徹
- ◆福島県計量協会
東北六県・北海道計量協会
連合会計量功労者表彰
・齋藤 高裕
福島県タクシーメーター工業会
会長



産業技術環境局長表彰を受ける加藤徳文氏



中上徹氏



連合会功労者表彰を受ける齋藤高裕氏と奥様

計量記念日全国大会

「何でもはかってみよう
コンテスト」入賞作品
(敬称略)

◆最優秀作品賞
パラボランテナは
何でも1点に集めるのかな?
福島大学附属小学校
四年 藤東 佑和
一年 藤東 啓和

◆優秀作品賞
いろんなはっぱの大きさと
重さを測ろう
大阪府泉南郡熊取
町立西小学校
四年 桜井 懸

◆優秀作品賞
はかってみよう!
わたしの家の1日の
プラスチックごみの量
福島県福島市立庭坂小学校
六年 山岸いそら
二年 山岸 龍馬

計量啓発標語入選作品

(敬称略)

◆最優秀作品賞
計量の 精度を支える 先端技術
愛知県 牛田 正行

◆優秀作品賞
計る目で即座に摘める危険の芽
次世代へ 守り伝える 確かな計量
東京都 今井 東彦
奈良県 脇本 啓子

◆佳作
安心は その一目もりの かくにんから
福島県 長谷川慶佑



受賞された藤東兄弟(左)・山岸姉弟(右)

平成三十年度 福島県計量協会功労者表彰者

- ・(株)環境分析研究所
福島県計量管理協会
(株)環境分析研究所
- ・田邊 真一
(株)福島県環境測定放射能計測協会
(株)クレハ分析センター
- ・畑 幹雄
福島県タクシーメーター工業会
(株)鈴木自動車電装

- ・郡司 政吉
福島県計量協会会員
福島県計量器コンサルタント協会
- ・植田 一幸
福島県適正計量管理事業所協議会
- ・木村 啓次
福島県計量証明事業者協会
北東物産(株)
- ・(有)シントム
福島県計量工業会
(有)シントム
- ・小林 史夫
福島県計量工業会
アズビル金門白河(株)
- ・若林 勇一
福島県計量工業会
アズビル金門白河(株)
- ・瀬和 一忠
福島県計量工業会
ヤマヨ測定機(株)白河工場
- ・前沢 恒
福島県計量管理大型店協議会
イオンリテール株式会社
東北カンパニー

平成三十年度東北・北海道計量大会 第六十七次東北六県北海道 計量協会連合会通常総会



東北・北海道計量大会の盛況

東北六県・北海道計量大会連合会が主催の平成三十年度東北・北海道計量大会は、十月四日秋田市「秋田ビューホテル」において盛大に開催された。

今回の大会は、(株)秋田県計量協会の担当となり、午後一時十分より開催され、次第により、黙祷を行い、鍋島孝敏東北六県北海道連合会長のあいさつとあつと、計量功労者の表彰があり、当県からはタクシーメーター工業会の会長を勤めている齋藤高裕氏が目出度く表彰を受けた。

社会福祉協議会に「車いす用体重計」を1台ずつ寄贈した。
次に声高らかに大会宣言「くらしを守る確かな基準・・・計量・計測」はかることは全ての礎・・・正しく計量のスローガンを掲げ、最善の努力を尽くすことを重ねて決意し、大会宣言が採択された。

続いて、来賓祝辞として、小谷野泰宏国立研究開発法人産業技術総合研究所計量標準総合センター長 秋田県知事、秋田市長、(株)日本計量振興協会会長からのあいさつ(代読)があり無事終了した。

◆第六十七次連合総会◆
計量大会終了後、連合総会を開催した。
鍋島連合会長のあいさつの後議事に移り、
①前年度大会開催県の鍋島孝敏(株)宮城県計量協会会長より昨年の御礼を兼ねた報告があった。

②提案議題
(1)指定検定期間の運用について (福島県)
(2)指定検定期間の北海道・東北ブロックについて (宮城県)
(3)連合総会の次期開催地について (秋田県)

議題1については、
①指定検定期間は全国が原則であり、今回の政省令改正では緩和してブロック制を導入した。更なる細分化についての予定はない。

②ユーザー負担軽減の観点から、北海道又は東北に1つ以上の事業所を設置するのが「望ましい」とした。

③ブロック内の料金の統一を図るべきとの趣旨であれば、各機関が個別に手数料を定めるもの。
④全国各県計量協会の指定検定期間申請を一本化して申請する考えはない。

との回答が、①③については計量行政室に代わって大会事務局から読み上げられ、④については日誌振からあった。

議題2については、
①「指定の申請の考え方(第一版)」では、北海道又は東北に1つ以上の事業所を設けるのが「望ましい」としている。

との回答が計量行政室に代わって大会事務局から読み上げられた。
議題3については、
次期開催地が岩手県に決定された。



大会旗は岩手県へ



計量士代検査推進事業について

昭和五十年より、計量検査の主たる事業として県が行う特定計量器の検査のうち、大型・中型・小型はかり(主として電気式はかり)の所在場所検査について、代検査推進事業として実施しております。

検査実施期間	平成30年1月26日	平成30年12月21日
対象地区	9市13町8村	
項目	戸数	台数
大型はかり	124戸	136台
電気式はかり	1,054戸	1,970台
一般小型はかり	657戸	18台
計	1,718戸	2,074台

◆計量証明◆
電気式はかり 45台 0台
機械式はかり 1台 0台
計 46台 0台

12月10日県報告分まで

日本郵政グループ計量管理業務概要

平成三十年度
検査実施期間 平成30年5月14日～平成30年11月19日
対象地区 8市14町8村
臨局数 310局
(旧集配センター数含む)
窓口用はかり 318台
集荷用はかり 223台(①)
計 541台(①)

※①内の数は不適合数です。

郡山市指定定期検査機関業務について

平成二十八年年度より郡山市の指定を受け、「取引」「証明」に使用する特定計量器のうち、はかりを対象として二年に一回、計量法に基づき定期検査を実施しています。

検査月	舞木地区、堂前地区、駅前地区、中町地区、本町地区
五月	芳賀地区、小原田地区、赤木地区、桃見台地区
六月	富田地区、深沢地区、麓山地区、桑野地区、桑根地区、桑野地区
七月	開成地区、希望ヶ丘地区、桑野地区、久留米地区
八月	大槻地区、その他地区
九月	大槻地区、その他地区
十月	大槻地区、その他地区
十一月	大槻地区、その他地区
十二月	大槻地区、その他地区
通年	大型地区

日本郵政グループ計量管理業務について

平成十六年度より(株)日本計量振興協会から受託を受け、日本郵政グループ計量管理受託事業を実施しております。



▲平成30年度ポケットティッシュ



いわき計測展ポスター

計量記念日特集

“計量記念日” 11月1日

=計量強調月間11月 1日~11月30日=



計量記念日ポスター

計量ひろば

期日 平成30年11月3日(土)
会場 「街なか広場」
主催 福島市 福島市計量管理協会 (一社)福島県計量協会

<いわき計測展>



福島県計量検定所の展示コーナー

<親子計量体験教室>



良い子達良く聞いて下さい!



ママ美味しいメロンあてで!!



年をとっても握力はある



アメチョコ目方あては難しい



重さあてコンテスト子供の部



ミニチュアのトラックスケール



このお菓子は何グラムあるのかな?



おじいちゃん肺活量はかってみて



若いほど気になる体脂肪



健康チェックしてみよう



舞台上で重さあてコンテスト



いわき計測展のオープン(テープカット)



この血に糸を通して下さい!



このはかりは正確、合格です!



美味しそうな果物重さあて



若くても気になる血圧測定



当選おめでとう!!

計量記念日計量強調月間行事

◇計量ひろば

計量記念日を十一月一日と定めて二十四年目となりました。
全国では、計量記念日を中心に様々な催しにより、計量思想の普及啓発が行われております。
本県におきましても、計量思想の普及啓発のため、計量記念日ポスターの配布掲示、チラシ・ポケットティッシュ・タオルを作成配布し、PR活動を行いました。
福島市においては、福島市、福島市計量管理協会と共催し、十一月三日福島市「街なか広場」において、体力測定や果物の重さ当て、はかりあてはかっコンテストなどのイベントを行った。

◇親子計量体験教室

「つくってはかかって はかりではっけん!」
県と当協会の共催で、平成三十年七月二十一日に「郡山市総合福祉センター」と平成三十年七月二十五日に「いわき市立中央公民館」及び平成三十年八月一日に「福島市市民会館」にて親子計量体験教室「つくってはかかって はかりではっけん!」を開催した。
「計量の歴史や生活の中の計量」についての説明のあと、「棒はかり」の作業を行い、実際に身近な物の重さを計り、計量の大切さについての理解を深めた。
参加者の皆様には、大変好評で「子供がはかることに興味をもつきっかけとなりよかったです」などの感想が寄せられた。

◇いわき計測展

第二十四回いわき計測展が十一月八日〜九日にいわき市駅前「ラトブ」六階(いわき産業創造館)において開催された。
この計測展は、一年に一度開催されており、いわき市計量管理協会主催、企業十八社の参加と十三社の企業、七団体の協賛により、計測器の展示と企業PR等が行われた。
また、開催初日には計量検定所による「計量出前教室」が、二日目は(株)日立製作所大みか事業所IoTシステム設計部シニアコンサルタントの大津氏による「日立大みか事業所IoTを活用した生産改革の取り組み」のセミナーがあり、盛況であった。

平成30年度 福島県計量標語10選

- ・ 確かな計量 育む安心 豊かな暮らし (高校一年生) 古山 和生
- ・ 信頼を 築く目盛りの 積み重ね 堀 卓
- ・ これからも 努力を重ね 正しく計量 鈴木 優美
- ・ 計量管理 良い製品の 第一歩 加藤 毅
- ・ 信頼と 安心届ける 計量管理 鹿野 正秋
- ・ 自動より しっかり計れる 計量器 高山 裕行
- ・ 計量の 技術がはぐくむ 豊かな社会 橋本 善男
- ・ 1メモリ 正しく計る 目と心 北山 里美
- ・ 正しく計って正しく設定 つなぐ つながる IoT 長尾 利賀
- ・ 標準と合って安心 正しい計量 千葉 忠彦

計量証明事業者 一般主任者講習会

計量証明登録事業者における一般計量主任者の講習会が今年度、福島県計量証明事業者協会の主催により、県計量検定所及び福島県計量協会の協力のもと、郡山市「ユラックス熱海」において開催され、この講習会は五年ごとに知事が指定する講習会を受講することになっており、今回は四十一名の有資格者を対象に実施された。

〔講習会の内容〕
 ◇平成30年9月19日 受講者38名
 郡山市郡山ユラックス熱海
 ①計量法と登録関係手続きについて
 講師 福島県計量検定所 主幹兼次長 谷代 勝明
 ②計量の基礎知識について
 ③やさしい計量法の解説と最近の計量制度の概況について
 ④大型計量器の管理について
 講師 福島県計量協会 専務理事 高橋 稔 業務部長 加藤 敏宏



盛況の一般計量主任者講習会

計量管理大型店 計量管理主任者養成講習会

県内のデパート・スーパー等の大型流通店舗を主体とした、自主的な計量管理の推進と計量技術の向上に加えて各店の情報交換を図る目的で設立された福島県計量管理大型店協議会主催の計量管理主任者養成講習会が開催された。

〔講習会の内容〕
 ◇平成30年10月18日 受講者35名
 福島市福島県青少年会館
 ◇平成30年10月23日 受講者29名
 郡山市郡山ユラックス熱海
 ①計量法令関係について
 ②量目検査およびQ&A



熱心に講習を受ける会員

中小企業向け 測定基礎研修会

〔福島県計量協会事業〕
 中小企業向け測定基礎研修会の開催
 〔福島県計量協会において、中小企業を対象とした測定の基礎や測定器の使い方や最新の情報知識を中心とした講習会が行われ、いわき市の計量管理協会との共催及び白河市・白河商工会議所の後援により各会場において開催された。〕

〔講習会の内容〕
 ◇平成30年8月8日
 いわき市「いわき新舞子ハイイツ」
 ◇平成30年11月16日
 白河市「白河商工会議所」
 ◇受講者 両会場併せて32名
 ①測定の基礎
 (測定の信頼性とトレーサビリティ)
 ②測定器の基礎知識と使い方
 (長さ・質量と質量計・温度)
 ③測定器の管理
 (測定作業、ISOが求める測定器の管理)

講師 〔福島県計量協会〕
 専務理事 高橋 稔
 業務部長 加藤 敏宏
 〔福島市〕 知的財産規格部 規格グループ課長 和田 俊之
 〔郡山市〕 ㈱寺岡精工郡山営業所 所長 大嶋 克久

適正計量管理事業所 適正計量管理主任者養成講習会

県内に所在する適正計量管理事業所の連絡を強化し、計量管理システムの確立と検査技術の向上を図り、自主的な計量管理の推進を図ることを目的に設立された福島県適正計量管理事業所協議会主催の適正計量管理主任者養成講習会が開催された。

〔研修会の内容〕
 ◇平成30年3月5日 受講者 25名
 郡山市「福島県産業交流館(ビッグパレット)」
 ①やさしい計量法の解説
 政省令改正の現況
 ②包装に見る計量・計測
 (生産活動の体系的な管理法)
 (計量・計測のトレーサビリティと簡単な不確かさ)
 ③適正計量管理事業所Q&A
 講師 〔福島県計量協会〕
 専務理事 高橋 稔
 業務部長 加藤 敏宏
 ④我が社の計量管理について
 昭和電工(株)
 ショウテック事業部 喜多方事業所 計量士



会場を埋め耳を傾げる会員

適正計量管理事業所 適正計量管理主任者養成講習会

会場を埋め尽くした適管講習会



県からのお知らせ 福島県計量検定所

◆平成三十一年度特定計量器定期検査計画について
 計量法の目的の一つである「適正な計量の実施を確保するため、取引又は証明に使用されている「非自動はかり、分銅、おもり」は二年に一度の検査を受検することが義務付けられています。
 平成三十一年度に県が実施する検査予定区域等は表のとおりです。日時、検査場所等は順次県報で告示します。また、当所ホームページでもご覧いただけます。

検査月	検査予定区域
五月	伊達市、桑折町、国見町、川俣町
六月	白河市(峯郷・大信・東・西郷村、泉崎村、中島村、矢吹町、下郷町、檜枝岐村、只見町、南会津町)
七月	石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町、田村市、小野町、三春町
八月	棚倉町、矢祭町、埴町、鮎川村、広野町
九月	
十月	

◆メーターの有効期間について
 有効期間内の正しい計量器を使用しましょう！

計量器の種類	有効期間
タクシメーター	一年
燃料油メーター	七年※①
水道メーター	八年
ガスメーター(都市ガス)	十年※②
電力量計	十年※③

※①灯油等販売車両は五年。
 ※②七年のものもあります。
 ※③五年・七年のものもあります。
 ★有効期限は「年・月」でメーターに表示されています。
 なお、本年一月より年表示が「和暦」から「西暦」に変更となります。

◆商品量目適正計量強化月間について
 適正計量の実施の確保と消費者保護の観点から、県及び特定市(福島市、会津若松市、郡山市及びいわき市)では、七月及び十一月を商品量目適正計量強化月間として、商品の内容量が表記されたとおり適正に計量されているか、県内一斉に「商品量目立入検査」を実施しています。

★内容量不足の原因
 商品トレーや包装フィルム等風袋の重さが正しく差し引かれていないことが主な原因です。適正な風袋量の設定や正確計量の徹底について指導しました。

★正しい計量のポイント
 ●取引や証明に使用するはかりは定期検査に合格していること。
 ●はかりは、丈夫で平らな場所に置く。
 ●はかりの表示が「0(ゼロ)」になっていることを確認してから計量する。

◆普及啓発事業
 計量検定所では、〔福島県計量協会及び特定市と協力し、小学生や一般消費者等への計量思想の普及啓発に努めています。〕

◆大人のための講座
 ●風袋の重さを正しく差し引く。
 風袋とは、商品トレーや包装フィルムのほか刺身のツマ、パラン、わさび、しょうゆ等の添え物で商品の重さには含まれません。

◆消費者等支援事業
 私たちの生活に深く結びついている計量について、消費者の方を対象にした出前講座を開催しています。
 公民館や学習センター、消費者団体等の活動にぜひ御活用ください。
 正しい計量について学び、賢い消費者を目指しましょう。

◆小学生のための教室
 県内の小学校を訪問し、子どもたちに日頃あまり意識することのない「正確な計量の大切さ」を、楽しいお話と計量体験を通して伝えます。

◆親子計量体験教室
 福島会場と郡山会場で、小学生とその保護者を対象に毎年七月に実施していますが、今年度はいわき会場も増えました。自分たちで棒はかりを工作して、そのはかりを使って物の重さを量ることで、計量を身近に感じていただけます。
 また、夏休みの自由研究にもピッタリと好評をいただいています。

◆イベント出展
 「第二十四回いわき市計量管理協会主催の「わき計測展」に出展し、計量クイズやパネルによる計量制度の解説を通して、正確な計量の重要性をPRしました。

◆計量関係事業について
 ★主任計量器について
 質量・長さ・面積・体積・熱量の計量証明事業の登録を受けようとする事業所は、一般計量士又は主任計量器を配置しなければなりません。
 主任計量器になるためには、知事の指定する講習を受講し、知事が行う主任計量器試験(年3回実施)に合格しなければなりません。
 ★特定計量器の製造・修理・販売事業者について
 計量器の製造・修理・販売をするには、都道府県知事に届出をしなければなりません。
 また、届出をされた事業者で、所在地や代表者等の届出事項に変更があった場合、その旨を届け出る必要があります。
 詳しくは、当所ホームページを御覧ください。

◆ホームページ
 福島県計量検定所 検索
 電話024(521)7655
 ◆事務所移転について
 計量検定所は、福島県庁西庁舎免震化改修工事に伴い、西庁舎一階から仮設庁舎二階へ移転しています。期間は、平成三十一年二月頃までの予定で

◆計量関係事業について
 ★主任計量器について
 質量・長さ・面積・体積・熱量の計量証明事業の登録を受けようとする事業所は、一般計量士又は主任計量器を配置しなければなりません。
 主任計量器になるためには、知事の指定する講習を受講し、知事が行う主任計量器試験(年3回実施)に合格しなければなりません。
 ★特定計量器の製造・修理・販売事業者について
 計量器の製造・修理・販売をするには、都道府県知事に届出をしなければなりません。
 また、届出をされた事業者で、所在地や代表者等の届出事項に変更があった場合、その旨を届け出る必要があります。
 詳しくは、当所ホームページを御覧ください。




◆計量関係事業について
 ★主任計量器について
 質量・長さ・面積・体積・熱量の計量証明事業の登録を受けようとする事業所は、一般計量士又は主任計量器を配置しなければなりません。
 主任計量器になるためには、知事の指定する講習を受講し、知事が行う主任計量器試験(年3回実施)に合格しなければなりません。
 ★特定計量器の製造・修理・販売事業者について
 計量器の製造・修理・販売をするには、都道府県知事に届出をしなければなりません。
 また、届出をされた事業者で、所在地や代表者等の届出事項に変更があった場合、その旨を届け出る必要があります。
 詳しくは、当所ホームページを御覧ください。



企画・設計製作・メンテナンス・改造・プラント

COSMO ENGINEERING

FAシステム部・計量システム部

メカトロ一体の会社です

少数精鋭で技術力のある会社です

小回りの利く会社です



株式会社 **コスモエンジニアリング**

福島市下鳥渡字新町西3番地の1

TEL.024-545-5797

FAX.024-545-5898

http://www.cosmo-fukushima.co.jp

第5回「日本でいちばん大切にしたい会社大賞」審査委員会特別賞受賞



地球にやさしいココロジー

株式 会社の こんの

～エゴからエコへ～

〒960-8032

福島県福島市陣場町 2-20

TEL:024-524-2345

FAX:024-524-2040

詳しくはHPをチェック!

こんの



計量証明事業者標章



トラックの乗り入れには十分気をつけて!!

(大型はかり急ブレーキ、急発進注意の看板がありますのでご希望の方は下記まで!)

信頼のきずなを 結ぶ正しい計量

(計量証明は知事の登録を受けなければできません)

貨物の計量は 県知事登録事務所で

福島県計量証明事業者協会 福島市杉妻町2番16号 (一社)福島県計量協会内 ☎(024) 521-4035

計量器製造販売修理事業届出事業所
地下タンク・移動貯蔵タンク定期点検認定事業所

各種はかりの保守管理・修理・販売
ガソリン計量器の保守点検・修理・販売
地下タンク・移動貯蔵タンクの定期点検

KNK 県南計器株式会社

(株式会社 富永製作所代理店)

〒963-0112 郡山市安積町成田字島ノ後33番地の5 TEL(024)945-1385 FAX(024)945-1796



計って運べる一台二役 キャリーウェイCWシリーズ

はかり一筋 三信計器株式会社

〒960-8204 福島市岡部字根深1 2 5
TEL 024-525-4580 FAX 024-525-4581

「正確さ」で未来を築く

- 工業用・商業用・水産用・家庭用各種
- ロードセル式はかり設計・施工
- 公的質量標準供給体制による証明・検査
・・・ご相談ください。



計量器の製造・販売・修理・検査
いわき計量商事株式会社

〒970-8036 いわき市平谷川瀬二丁目5-1
TEL 0246(21)4663 FAX0246(22)4729
E-mail:hakari@mwe.biglobe.ne.jp

より地域に密着し、あらゆるニーズにお応えします

- ◆ 計量機の販売・保守・修理
- ◆ 給油所等、危険物施設の保守点検及び改修・補修工事
- ◆ 地下タンク及び移動タンクの検査・清掃

※危険物施設の定期点検は、消防法で義務づけられています。

株式会社 **タツ** 東北支店

【郡山営業所】 〒963-0101 郡山市安積町日出山 2-121
【いわき営業所】 〒973-8402 いわき市内郷御殿町 1-216
【会津若松SP】 〒965-0042 会津若松市大町 1-7-12-208

☎ 050-9000-5600
☎ 050-9000-5603
☎ 050-9000-0419



▲盛大に開催の計量記念日全国大会

経済産業省と計量記念日組織委員会の主催による「平成三十年度計量記念日全国大会」が十一月一日、東京都港区「ホテルインターコンチネンタル東京ベイ」において全国から約二百名が参加し盛大に開催された。大会は計量記念日式典・記念行事・レセプションの三部構成で、計量日式典(経済産業省主催)では経済産業大臣表彰(計量関係功労者九名)と産業技術環境局長表彰(計量関係貢献者十五名)の表彰式が行われ、記念行事では「計量啓発標語」と「何でもはかってみようコンテスト」の発表及び表彰式が行われた。特別講演は、中川 毅氏(立命館大学総合科学技術研究機構古気候学研究所センター長教授)による「7万枚の縞を数えるー福井県の「泥」が世界の「ものさし」になるまでー」があり、そのあとレセプションで各道府県との交流を深め盛況裡に終了された。

私の趣味訪問(第3回)

◇ 郡司 荘山(政吉)氏

計量器コンサルタント協会会員
都山流尺八大師範

◀ 尺八を吹く郡司さん



◎ 竹の音色に魅せられて!

福島県の田村市滝根町にある「入水鍾乳洞」の看板の向かいにある一軒家で尻尾を忙しく振る真白なワシントンと郡司さんに迎えられた。

郡司さんは都山流尺八の大師範。県内でも全国大会常連の尺八演奏の名手でもあります。(元、日本計測工業郡山営業所長)

自分で基礎から屋根の取り付けまでパイプで組み立てたプレハブ小屋にお邪魔。若干狭いが立派な部屋が二つ。演奏の研究と教室には充分なスペースです。

現在までの活躍の写真、メダル、尺八、CD、資料等がキッチリと整理されておりました。

先ず、「きっかけは?」と聞くと、大学卒業後上京、昭和四十九年計量器メーカーである(株)オーバル(一般社団法人日本計量振興協会前々会長であった加島淳一郎氏の会社)系列の(株)櫻測器(レベル計、液面計製造)に就職。当時は会社でクラブ活動が盛んであり、学生の頃フルートを学んでいた関係もあり、尺八のクラブの開発部門の先輩に誘われ入会、尺八の仲間ができた。

企業誘致のため本社で研修を積んでいたが一向に進まず、「長男なので家に戻れ」との話になり、昭和五十二年地元に戻ってきて、郡山市内を散策した時、あの懐かしい素晴らしい竹の音色が聴こえてきて「これだ」と思い、再び音曲の世界にハマって行くのでした。

郡山の計測会社に就職も決まり、郡山市麓山町の都山流大師範「川合祐山」に師事されました。昭和五十三年には東京での修行の結果か、初伝から奥伝に飛び昇段、皆伝、昭和六十一年準師範から師範。平成二十五年には遂に待望の大師範となり、その行動範囲は無限に広がっていったのです。

いわきに転勤の折には地元の間も増え大会での入賞は数知れず、全国版の尺八の先生になり、更に琴・三味線・尺八の三絃合奏会等で県内、国内の著名な方々との演奏会、中国、ドイツにも訪問、研

修する等、国際的にも、その交流の輪が広がったのです。郡司さんは云う。

「誰が吹いても同じ音がでる西洋の楽器とは違って、尺八の竹の音は無限に広がる、遠く、深いものです。」と語る。

現在は詩吟(皆伝・準師範)を尺八の伴奏として学び、尺八、カラオケ演奏の作曲、仏像画の模写、色鉛筆画を趣味とし、また滝根町の「菅谷大字会(あぶくま洞他の管理組合)」の執行役員として地元にも貢献されている。

今後のスケジュールびっしりの話を聞いて、くれぐれもお身体を大事に趣味を続けられることを期待し、失礼した。

(洲)

◀ 仕事場に大量の尺八、賞状、メダル



編集後記

◇ 当協会に時々「ケイロウ協会ですか?」と電話で言われることがあります。くれぐれも「ハイ、そうです。」と答えぬように気をつけております!!

◇ 本県の日本酒は六年連続金賞日本一。清酒鑑表会で十九銘柄が受賞。福島県産酒米の品質の良さと素晴らしい美味しいう水がマッチしての結果です。寒さに向かい「福島のお酒」を静かに味わうのは如何でしょうか!!

◇ 二〇二〇年東京オリンピック◇ パーリンピックで野球・ソフトボールの球技が福島県で行われる。昨年十一月二十八日、福島市の「県営あづま球場」にIOCのバッハ会長が視察来福した。五輪に向けての「安全・安心」の大会となるよう、取り組みへの願いを述べた。

計量も、また同じ。「安全・安心」のため、肝に銘じて頑張ろう!!

◇ 昨年の十一月一日東京コンチネンタルホテルで開催された「計量記念日全国大会」の席上「何でもはかってみようコンテスト」に見事、当県の藤東兄弟が最優秀、山岸姉弟が優秀賞とダブル入賞。県内二紙にもカラーの報道記事で大きく掲載された。他のチビッコ達も後に続け!!

◆ 聞き流す特技があつて平和です
◆ 本当のおしゃれは素顔の健康美
◆ 震災で 絆深めた 友の仲

— 計量山人 —